

宮城県美術館リニューアル基本構想（中間案）に対する第6回懇話会の主な意見について

1 第6回宮城県美術館リニューアル基本構想策定に係る懇話会について

- ① 開催日：平成28年12月14日（水）
 ② 出席者：懇話会委員7名

NO	項目	ページ	主な意見・提言の内容（要旨）	考え方
2-1	「はじめに」	P1-2	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県美術館の担ってきた役割の見直しの必要性について、どのような役割チェンジが必要か明確にする。 「未来に対して開かれた美術館」という視点から、「新しいことに取り組む」というメッセージ性を加え、リニューアルの方向性を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「開かれた」総合美術センターの理念を再構築する観点から、今後の美術館の姿について、加筆、修正しました。
2-2		P2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに対して、「遊びと学びの場となるような施設」であるとあるが、後段には「文化芸術は人々に生きる希望や勇気をもたらす、地域の活力を生み出す」とあり、美術館活動は、人間性や地域に生きるシビックプライドの醸成や生きる実感の発見であるので、より表現を膨らませると良い。 	
2-3		P2	<ul style="list-style-type: none"> 「開かれた美術館」の押さえとして「ともに築き合う」点や「スタッフの充実」に明記されている外部との協働の観点に触れ、「おわりに」までの一連の流れつなげる必要がある。 	
2-4	第2章これからの宮城県美術館が目指す方向性 3 リニューアルに向けた基本的な考え方 (3) 県民及び利用者からの意見の聴取	P18	<ul style="list-style-type: none"> 構想の実現に向けた方法として、県民参加で考えることが大事であり、人材やアイデア、資金等も含め共に考えていく必要がある。また、「美術館が変わろうとしている」ことの宣伝にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料3に記載の通り、パブリックコメントを実施しました。また、資料4に記載の通り、関係機関、市町村等から意見聴取しました。 いただいた意見については、基本構想の最終案に反映させるとともに、今後、基本方針を策定していく過程で参考としていきます。
2-5	第3章宮城県美術館に求められる機能と役割 1 収集展示	P22	<ul style="list-style-type: none"> 構想の実現に向けて、「この美術館に来るとこの作品が見られる」というものが重要だと思う。予算を数年分計画するなどの検討を明記した方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで以上に魅力あるコレクションにつなげる観点から、コレクションの充実について記載しました。

2-6	第4章 本構想の実現に向けて	P29	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連から「本項目のポイント」の「最適」に「長期的に安定的かつ継続性のある」を加えることで「最適」の示す内容が明確になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業手法の基本的な考え方が明確になるよう修正しました。
2-7	2 事業手法等 について	P29	<ul style="list-style-type: none"> 資金調達の方法の例として「ネーミングライツ」を挙げているが、美術館は地域のアイデンティティを背負っており、宮城県や東北のコレクションを冠した美術館であるわけなので、明記は避けた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 資金調達の面も含めて、美術館を支える仕組みづくりの構築が重要という観点で修正しました。